

超音波内視鏡診療の深化と新たな展開

超音波内視鏡(EUS)診療は膵胆道疾患の診断・治療において欠かすことのできない手技として発展を続けており、技術や機器の進展により、その臨床的価値はますます高まっています。

本セミナーでは、EUS診療の第一線でご活躍されているエキスパートの先生方にご登壇いただき、モダリティの活用法を交えながら実践的な手技戦略や、今後のEUS診療がもたらす可能性について、幅広い視点からご講演いただきます。

日時 2026年11月5日(木) 12:30-13:40

会場 第6会場 神戸ポートピアホテル 大輪田B

司会



富山大学 第三内科
安田 一朗先生

演者



胆膵診療におけるEUSの現在地 ～EU-ME3が支える診断と治療のストラテジー～

兵庫医科大学 消化器内科学 肝胆膵内科
塩見 英之先生



Aplio i800 EUSの臨床活用から考える EUS診療の展望

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科
肱岡 範先生

サテライトシンポジウム75

最新の上部・下部消化管ステンティング： 日本の技術に刮目せよ！

本セミナーでは、消化管ステント三製品（スプライダー 胃十二指腸ステント・Bactrian SR 大腸ステント・ジャバラ 大腸ステント）について、それぞれエキスパートの先生方から、各領域における現在の傾向と最新の知見、各製品の実際の使用経験や使用方法についてご講演いただきます。

日時 2026年11月5日(木) 17:30-18:50

会場 第7会場 神戸ポートピアホテル 大輪田C

司会



東邦大学医療センター大橋病院 外科
斉田 芳久先生

演者



九州発！胃十二指腸ステント スプライダーを使いこなす

九州大学 大学院医学研究院 病態制御内科学
藤森 尚先生



Bactrian SR(セグメンタルリリース)が変える、 大腸ステンティング手技

横浜新緑総合病院 消化器センター・外科
齊藤 修治先生



「縮んで届けろ、抜いて治めろ」 一直腸留置と意図的抜去、 Covered大腸ステント ジャバラが届ける 新常識

北九州市立医療センター 消化器内科
隅田 頼信先生

臨床の「技」×「IEE」が創り出す、 より確かな上部内視鏡スクリーニング

より確かな上部内視鏡スクリーニングの実践には、見落としの少ない観察技術に加え、さまざまなIEEを臨床状況に応じて適切に使い分け、活用することの重要性が高まってきております。

本セミナーでは、臨床の「技」×「IEE」による実践的アプローチに着目し、上部消化管における病変検出から診断技術に加え、NBI+TXI™の臨床における可能性や効果的な活用方法についてエキスパートの先生方にご講演いただきます。

日時 2026年11月7日(土) 8:00-8:45

会場 第5会場 神戸ポートピアホテル 大輪田A

司会



国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科
矢野 友規先生

演者



咽頭・食道がん内視鏡診断の深化
ー 新たなIEEの最適活用を考える ー

鹿児島大学病院 消化器内科
佐々木 文郷先生



胃がん診療の新戦略
ー「技」と「IEE」の両輪で挑む ー

福岡大学筑紫病院 内視鏡部
宮岡 正喜先生

ランチョンセミナー58

大腸内視鏡診療の最前線 ー 拾い上げから診断・治療戦略を支えるモダリティ活用 ー

近年、AI、画像強調内視鏡(IEE)、拡大内視鏡などの技術は大きく進化し、大腸内視鏡診療を支える存在となっています。本セミナーでは、関口先生より大腸スクリーニングの現状と課題、CAdEのアジア国際共同試験の結果をご紹介します。また、樺先生より質的診断から治療方針の決定におけるIEEや拡大内視鏡を中心とした各種モダリティ活用について、エビデンスと使用経験に基づく実践的な活用法についてご解説いただきます。

日時 2026年11月7日(土) 12:30-13:40

会場 第1会場 神戸国際展示場2号館 ホール北

司会



静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科
堀田 欣一先生

演者



大腸スクリーニングの質向上を目指して
ー 大腸内視鏡CAdEアジア国際共同試験の結果を踏まえて ー

国立がん研究センターがん対策研究所 検診開発研究部
関口 正宇先生



大腸内視鏡診断から治療を支える
モダリティの実践活用

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 内視鏡部
樺 俊介先生